

## (事業概要)

### 1 グローバル人材の育成

#### (1) 国際理解教育の促進

##### OFIX 国際理解教育外国人サポーターの育成・派遣（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会との共催事業

府内学校の児童・生徒の外国への関心と、様々な国についての理解の促進をめざし、OFIX 国際理解教育外国人サポーターとして登録している留学生などの外国人を、府内学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣するとともに、サポーター育成のための研修を実施した。

##### OFIX 国際理解教育外国人サポーターの派遣実績

35校（延べ 58校） 対象児童・生徒数：5,366人

##### OFIX 国際理解教育外国人サポーター育成のための研修

日 時：平成30年6月16日（土）

場 所：マイドームおおさか 会議室

講 義：「効果的なプレゼンテーションの手法について」

講 師：JICA 関西 国際協力推進員 鍋内 郷子 氏

参加者：外国人サポーター 12人

#### (2) 海外研修生受入事業

##### 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業の実施

大阪府出身の建築家・安藤忠雄氏をはじめ、当事業の趣旨に賛同された方々からの寄附金を活用し、建築・芸術を専門とするアジア諸国の若者を大阪に招き、日本の建築や芸術等を実地で学ぶ機会を提供した。

また、招聘した研修生と日本の大学生が交流する機会を提供することで、国際理解の促進を図った。

応募者数：51人（11か国）

研修生：8人（7か国：インドネシア、中国、インド、ベトナム、マレーシア、タイ、バングラデシュ）

研修期間：平成30年9月27日（木）～10月25日（木）29日間

受入企業：㈱大林組・㈱銭高組・㈱竹中工務店・大和ハウス工業㈱

研修内容：受入企業における建築現場の見学や設計部門での実習  
安藤忠雄氏設計による建築物の視察や京都スタディツアー  
大阪府による都市計画や法令等に関する講義や視察等  
ホームステイ（OFIX ホストファミリー）

交流事業：研修生と近畿大学学生との交流

テーマ「グローバル・マイクロ・パブリックスペース」

招聘した研修生と近畿大学の建築デザイン専攻大学院生・文芸学部学生とが共同して「近大国際交流ストリート・ブック・フェスティバル」の開催を仮定し、東大

阪キャンパス周辺での国際交流を促す最小建築の設計に関する提案を、英語でのプレゼンテーション、フィールドワークを通して行った。

## 2 外国人の受入促進・活動環境の整備

### (1) 外国人相談の充実等

#### ① 大阪府外国人情報コーナーの運営

府内に在住する外国人及び様々な場面で外国人と接する府民に対し、日本語を含む9か国語での相談対応や情報提供を行うとともに、外国人の行政ニーズの的確な把握に努めた。

また、大阪府補助金を活用し、相談室を3室に増設するなど在留外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう相談環境の整備に努めた。

対応言語：日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、  
ベトナム語、フィリピン語

相談方法：電話、来所、メール、文書

相談件数：1,624件

#### ② 府内市町村等の外国人相談の強化

(ア)大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議を開催した。

日時：平成31年2月5日(火)

場所：マイドームおおさか 会議室

講義：「入管法改正後の行方」

講師：行政書士 中野 辰宏氏

ワークショップ：「最近の相談事例研究」

ファシリテーター：(公財)大阪府国際交流財団 職員

出席者数：20人

(イ)外国人住民向け地域合同一日相談会

府内市町村における外国人相談窓口の設置を支援するため、大阪府内の自治体や国際交流協会が、府内の他の市町村や大学などと連携して実施する相談会を共催し、行政書士や弁護士などの専門相談員やボランティア通訳者等を派遣した。

#### ○「外国人のための一日相談サービス」

日時：平成30年6月11日(日)

場所：和泉市ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」

主催：和泉市、和泉商工会議所、(公財)大阪府国際交流財団

相談内容：法律、在留資格、労働、仕事、年金等

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語

相談者数：3人

相談件数：3件

○「外国人のための1日相談会」

日 時：平成30年11月13日（火）

場 所：池田市立中央公民館

主 催：（公財）とよなか国際交流協会、（公財）箕面市国際交流協会、  
（公財）大阪府国際交流財

相談内容：在留資格、法律、教育、進路、国民健康保険、国民年金、住民税、子育て、  
暮らし

対応言語：英語、ベトナム語、スペイン語\*、タイ語\*、中国語\*、韓国・朝鮮語\*  
（\*の言語は電話待機）

相談者数：4人

相談件数：7件

○「外国人のための無料相談サービス」

日 時：平成30年11月22日（木）

場 所：羽衣国際大学

主 催：堺市、羽衣国際大学、（公財）大阪府国際交流財団

相談内容：法律、在留資格、労働、税金、生活一般

対応言語：英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語

相談者数：17人

相談件数：24件

○「外国人のための無料相談会」（大阪府内及び近畿地域の国際交流協会等との連携による広域相談会）

日 時：平成31年1月20日（日）

場 所：吹田市国際交流協会

主 催：国際交流協会ネットワーク大阪、近畿地域国際化協会連絡協議会  
（いずれもOFIXは構成員）

協 力：大阪弁護士会

相談内容：法律、生活相談

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、  
インドネシア語、ネパール語、

相談者数：6人

相談件数：6件

○アジアウィーク

立命館大学大阪いばらきキャンパスでの国際交流フェスタ「Asia Week 2018」において、OFIXは「地域との絆づくり サポートする・サポートを知る」というテーマで出展し、留学生と来場者を対象とした「外国人相談コーナー」を開設した。

日 時：平成30年10月21日（日）10:00～16:00

場 所：立命館大学いばらきキャンパス フューチャープラザ1階

相談者数：2人

相談件数：2件

(ウ)外国人のための一日インフォメーションサービス

在住外国人と地域住民の共存共生に資するため、『外国人の住みやすい大阪』を考える関係機関等連絡会議の共同事業として、外国人を対象とした「一日インフォメーションサービス」を開催した。OFIXは、「生活関連ブース」での相談を担当するとともに、通訳協力を行った。

日 時：平成30年7月8日（日）11：00～17：00

場 所：大阪国際交流センター

主 催：1日インフォメーションサービス実行委員会

（「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議）

構成団体：大阪法務局・大阪入国管理局・大阪労働局・日本年金機構大手前年金事務所・全国健康保険協会大阪支部・大阪府・大阪府警察本部・大阪市・大阪弁護士会・大阪府行政書士会・（一社）大阪府医師会・（一社）大阪府歯科医師会・（一社）大阪府薬剤師会・大阪商工会議所・近畿税理士会・大阪府社会保険労務士会・独立行政法人日本学生支援機構大阪日本語教育センター・大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・（公財）大阪府国際交流財団・（公財）大阪国際交流センター ※事務局は大阪国際交流センター

相談者数：75人（うち電話相談は11件）

相談件数：119件

③ 通訳・翻訳ボランティアの育成

(ア)コミュニティ通訳ボランティア研修(OFIX ボランティアを対象)

OFIXでのボランティア活動やコミュニティ通訳に必要な知識を学び、実践ロールプレイを実施した。

日 時：平成30年6月21日（木）・6月22日（金）・6月29日（金）

場 所：マイドームおおさか 会議室

参加者：29人（7言語）

(イ)コミュニティ通訳ボランティア研修（大阪府域版）

大阪府域の市町村で活動するボランティアを対象として、コミュニティ通訳に必要な心構えについての研修を池田市と共催で実施した。

<共催者：池田市>

日 時：平成31年3月12日（火）

場 所：池田市中心公民館

参加者：26人（7言語）

(2) 災害時の外国人支援の強化

① 災害時の外国人支援の強化

(ア) 高等教育機関留学生担当者防災ワークショップの開催

府内の高等教育機関の留学生担当者等が参加し、「熊本地震における留学生避難所運営について」の講義と「災害時の留学生支援に関する現状の取り組みと課題について(安否確認方法等)」の意見交換を行った。

日 時：平成 30 年 10 月 5 日（金）  
場 所：追手門学院大手前中・高等学校 大手前ホール  
講 義：「熊本地震における留学生避難所運営について」  
講 師 熊本大学大学院先導機構 HIGO プログラム  
特任助教 ハリ プラサデウ デブコタ 氏  
参加者：20 人

(イ) 市町村国際交流協会との連携等

○市町村災害事業支援

防災力の鍵となる地域連携及び地域に根差した災害時外国人支援を推進し、さらなる地域力・防災力の向上をめざして、市町村や地域国際交流協会とともに共催事業を実施した。

<池田市>

テーマ：「災害時多言語ボランティア養成講座」  
日 時：平成 31 年 1 月 22 日（火）  
場 所：池田市中央公民館  
主 催：池田市、(公財)大阪府国際交流財団  
参加者：30 人

<泉大津市>

テーマ：「災害時多言語ボランティア養成講座」  
日 時：平成 31 年 1 月 26 日（土）  
場 所：テクスピア大阪  
主 催：泉大津市、泉大津市国際交流協会、(公財)大阪府国際交流財団  
参加者：13 人

○災害時通訳・翻訳ボランティア研修

災害時通訳・翻訳ボランティア制度と活動について学ぶとともに、模擬災害時通訳体験を実施した。

日 時：平成 31 年 3 月 2 日（土）  
場 所：マイドームおおさか 会議室  
参加者：22 人（6 言語）

(ウ) 「なるほどガイド」の作成・改訂

災害ボランティア研修時にテキストとして使用することや、府内市町村が地域在住外国人のための防災パンフレットを作成する際のモデルとして活用してもらうため「なるほどガイド」のスペイン語日本語版、ポルトガル語日本語版、タイ語日本語版、やさしい日本語版を作成した。

また、既存の「英語日本語版」、「中国語日本語版」、「韓国語日本語版」、「ベトナム日本語版」、「フィリピン日本語版」についても改訂した。

さらに、OFIX ホームページ上で閲覧者が自由にダウンロードできるようにし、情報発信に努めた。

(エ) 大阪府災害時多言語支援センターの設置運営

6月18日発生した大阪府北部地震の際、同日に大阪府と共同で本センターを開設し、7月9日まで運営を行った。

開設日時：平成30年6月18日から7月9日

場 所：OFIX 内

活動概要：多言語相談対応(9言語) 電話9件、メール5件

多言語情報発信 OFIX フェイスブック 33件(地震25件、大雨8件)

大阪府HP、おおさか防災ネット、OFIX HPでの掲載

他団体への支援 府内市町村、府北部国流協会への多言語支援ニーズの確認、翻訳支援、職員派遣  
メディア掲載 22件(新聞10媒体、テレビ2媒体)

(オ) OFIX 災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度の運営

近畿地域国際化協会連絡協議会が実施する「災害時外国人支援ネットワーク」の取り組みに基づき、OFIX 災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度を運営した。

登録ボランティア数：220人(新規33人)

(カ) 大阪府域における災害時の外国人支援体制づくり

大阪府域の市町村・国際交流協会間の連携やネットワークの強化を目的に、「大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議」を開催し、研修や情報交換を行った。

<第1回>

日 時：平成30年5月25日(金)

場 所：マイドームおおさか 会議室

講 義：「災害時における国際交流協会の役割～平成28年熊本地震から学ぶ～」

ワークショップ：「大規模災害時の対応や課題について」

参加者：27人

<第2回>

日 時：平成30年8月23日(木)

場 所：マイドームおおさか 会議室

内 容：「言葉がわからない体験ワークショップ(震災編)：何が起こった？」

参加者：22人

② OFIX ボランティア登録・派遣制度の運営

OFIX ボランティア登録制度を運営し、OFIX 事業のほか、公共団体等からの依頼に応じてボランティアを派遣した。

<登録ボランティア数>

ホストファミリー 33 家庭 (13 人受入)

語学ボランティア 209 人 (延べ283 人派遣)

文化ボランティア 20 人 (1 人派遣)

③ 多言語情報の提供事業

大阪府各部局からの要請に応じて、在住外国人が大阪で生活するうえで必要な行政情報を多言語化した。

#### ④ やさしい日本語事業

災害時など非常時の多言語情報の一つとして注目されていた「やさしい日本語」を平時にも応用することで、より多くの外国人の方にとって、わかりやすい情報提供を行うことをめざし、大阪府をはじめとする府内の市町村、国際化協会等を対象としたネットワーク会議や研修、外国人向けガイド等のやさしい日本語化に向けた実践ワークを実施した。

##### (ア) やさしい日本語ネットワーク会議

###### <第1回>

日 時：平成30年7月27日（金）

場 所：マイドームおおさか 会議室

内 容：「大阪府内の各市域におけるやさしい日本語の取り組みについて～事例発表」  
（堺市、茨木市、富田林市）

参加者：18名

###### <第2回>

日 時：平成31年2月1日（金）

場 所：おおさか市町村職員研修研究センター（マッセ OSAKA）

内 容：「やさしい日本語での市政情報提供について～事例発表～」  
（箕面市、神戸市）

参加者：17名

##### (イ) やさしい日本語研修

###### <カテゴリー1>

日 時：平成30年9月6日（木）

場 所：マイドームおおさか 会議室

参加者：32名

###### <カテゴリー2>

日 時：平成30年9月14日（金）

場 所：マイドームおおさか 会議室

参加者：40名

##### (ウ) やさしい日本語実践ワーク検討会

・第1回 平成30年11月 2日（金）7名

・第2回 平成30年11月 30日（金）7名

・第3回 平成30年12月 7日（金）8名

・第4回 平成30年12月 11日（金）6名

テーマ：災害時通訳・翻訳ボランティア「なるほどガイド・やさしい日本語版」の作成

場 所：マイドームおおさか 会議室（全4回）

##### (エ) 「大阪府生活必携」やさしい日本語版 作成



### (3) 留学生の活動促進事業

#### ① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営

海外から大阪への留学の促進を図るため、大阪府堺留学生会館オリオン寮（85室）を運営した。安定的な稼働状況（平均入居率 85.8%）を維持するとともに、経費節減を図るために共用部の電気料金の見直しを行った。

また、収入確保策として敷地内に自動販売機を設置した。

#### ② 大阪府堺留学生会館オリオン寮活用事業

（一財）大阪労働協会及び池田泉州銀行、エール学園が実施する留学生対象合同企業説明会において、府内企業への留学生の就職を促進するため、留学生のキャリアカウンセリング及び就職セミナーを実施した。

また、留学生等を対象とした総合防災訓練を実施したほか、年2回の地域交流会と寮生間交流会を実施した。

#### (ア) 留学生のキャリアカウンセリング

日 時：平成30年11月7日（水） 場 所：難波御堂筋ホール カウンセリング参加者：留学生 5人 セミナー参加者：留学生 50人	日 時：平成31年2月12日（火） 場 所：ハービスホール カウンセリング参加者：留学生 9人
---	---

#### (イ) 留学生等のための総合防災訓練

日 時：平成30年7月14日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮・大阪市立阿倍野防災センター

参加者：29人（留学生 21人・通訳ボランティア等 8人）

#### (ウ) 地域交流会

日 時：平成30年5月26日（土）・12月23日（日）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：120人（オリオン寮生・地元自治会等）

#### (エ) 寮生間交流会

日 時：平成30年9月29日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：オリオン寮生 26人

#### ③ 留学生への特別入場証の発行

大阪の歴史や文化を広く世界に発信するとともに、留学生の日本文化理解促進のため、関係機関の協力により、（公財）大阪国際交流センター及び（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会と共同で、在阪留学生を対象に美術館・博物館等の文化施設へ無料で入館できる特別入場証を発行した。

配付対象者 : 府内の大学、短大、専修学校等の留学生

入場証配付数 : 22,693部 (117校)

参加文化施設数 : 43施設

### 3 国際交流情報の収集及び発信

#### (1) OFIX からの情報発信

##### ① OFIX ホームページの運営等

###### (ア) OFIX ホームページ

OFIX 事業や他団体との共催事業・連携情報をホームページで発信した。各事業のページ追加・更新等内容の充実を図った。

年間アクセス件数 : 109,830 件

###### (イ) OFIX フェイスブック

OFIX フェイスブックにおいて、OFIX 事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を配信した。

さらに6月の大阪府災害時多言語支援センター開設時には、大阪北部地震時25本、豪雨時8本の情報を多言語で掲載した。

年間掲載件数 : 234 件

###### (ウ) OFIX ニュース

OFIX ニュース（日本語、英語）においても、OFIX 事業や他団体との共催事業・連携に関する情報を印刷版と配信版（メールマガジン）で、定期的に発行した。PR イベント時や賛助会員勧誘時のツールとして積極的に活用した。

発行回数 : 4回（季刊）

メール配信 : 9,876 通（1回平均2,469部）

印刷版 : 1,258 部（1回平均315部）

##### ② OFIX プラザの運営

OFIX 事務所内に設置した OFIX プラザにおいて、多文化共生チラシの配架などによる情報提供に加え、国旗や「OFIX 世界体験キット」の貸出しを行った。

##### ③ 広報の強化

組織の概要や事業を紹介するパンフレットやリーフレット・SNS 情報などを用途に応じ、多言語で作成・配信した。

## (2) 民間国際交流団体の活動促進

### ① 近畿地域国際化協会連絡協議会、市町村国際交流協会等との連携促進

近畿地域国際化協会連絡協議会の構成員として、近畿の府県・政令市の地域国際化協会との連携を図った。

また、災害時に相互にコーディネーター及び通訳の派遣や翻訳支援を行うため近畿地域国際化協会連絡協議会において締結している「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」を実効性のあるものとするため、大規模災害時に迅速に対応できるよう連絡協議会と共催で災害時広域支援シミュレーション訓練などに取り組んだ。

さらには、市町村国際交流協会等との災害時外国人向け防災訓練などの共催事業を通じ、連携の促進を図った。

### ② ワン・ワールド・フェスティバルへの参画

日 時：平成31年2月2日(土)・3日(日)

場 所：カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

来場者数：25,000人

ボランティア参加人数：延べ120人

実施プログラム数：34プログラム

参加団体数：ブース出展120団体・プログラム参加団体31団体

### ③ KIV・NET(関西国際交流ボランティアネットワーク会議)等への参画

KIV・NETは、国際交流ボランティア活動の発展、振興に寄与することを目的に平成8年3月に設立されて以来、そのネットワークを活かし、国際イベント等におけるボランティア支援を実施している。

平成30年度会員数：65団体(平成30年度事務局：(公財)大阪府国際交流財団)  
運営委員会

日 時：平成30年4月25日(水)

場 所：(公財)大阪府国際交流財団 会議室

総 会

日 時：平成30年6月26日(火)

場 所：マイドームおおさか8階第5会議室

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年5月

公益財団法人 大阪府国際交流財団